

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 10 月 20 日(水) ~ 平成 22 年 10 月 26 日(火))

平成 22 年 10 月 27 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 陸域観測技術衛星 (ALOS) 「だいち」のレーダーセンサー (PALSAR) を用いた全球森林・非森林分類図の作成について
JAXA は、陸域観測技術衛星 (ALOS) 「だいち」に搭載したレーダーセンサー (PALSAR) を用いて、世界で初めて、全球の 10 m 分解能の画像と森林・非森林の分類図を作成し、ホームページで分類図画像を公開した。併せて、名古屋で開催中の生物多様性条約第 10 回目締約国会議 (COP10) のサイドイベントで紹介した。さらに、北京で開催予定の 2010 年地球観測に関する政府間会合 (GEO) 閣僚級会合において紹介する予定。
- 全天 X 線監視装置 (MAXI) による新 X 線天体の発見について
JAXA の MAXI ミッションチームは、「きぼう」日本実験棟船外実験プラットフォームに設置された全天 X 線監視装置 (MAXI) によって新しい X 線天体を 10 月 17 日 (日) に発見した。この X 線新星は「ケンタウルス座」に出現したもので、NASA の天文衛星 Swift が、緊急追跡観測を実施した結果、今までに知られていない明るい X 線源であることを確認した。新星は、「MAXI J1409-619」と命名され、MAXI チームは Swift 衛星と共同で更に詳しい観測を進めて

いる。

- 準天頂衛星初号機「みちびき」の全測位信号の送信開始について
JAXA は、10 月 19 日 (火) に開始した LI-SAIF 信号 (測位補正情報、GPS の健全性に関する情報などを搭載した GPS 補強信号) の送信に続き、残りの測位信号 LI-C/A、L2C、L5、L1C、LEX 信号 (GPS と相互運用が可能な補完信号や「みちびき」独自の実験用信号) の送信を開始した。GPS 等の既存の衛星測位サービスに干渉を与えないことを確認しながら、段階的に出力を上げていき、10 月 26 日 (火) には所定の出力での全信号送信を開始し、地上システムにて正常に受信できたことを確認した。
なお、当面の間は、測位信号の機能・性能の確認を行うため、一般ユーザが測位計算に利用することは出来ない設定になっている。

宇宙開発に関する海外の動向

- ソユーズロケットによる通信衛星の打上げに成功 【欧、露、米】
10 月 19 日 (火) 17 時 10 分 (世界標準時)、仏アリアンスペース社及びスターセム社は、バイコヌール宇宙基地より、ソユーズ 2-1a (Soyuz 2-1a) / フレガトロケットを打ち上げ、米グローバルスター社の次世代通信衛星 6 機の所定の軌道投入 (低軌道) に成功した。